



木の家を愉しむ

木の見せ方で家全体の印象が変わります。構造材（柱や梁）をしっかりとみせ、見える木の分量を多くすることで、落ち着いた温かみのある空間になります。それとは逆に、大壁仕様にする事で、構造材は壁面に隠れ、スッキリとした印象に仕上げることができます。木の家を選択しても、デザインの好みで木の見せ方を楽しめます。

また、壁材として板張りを選ぶ楽しさもあります。木のそのままの風合いを楽しむのも良いですが、板を塗装して貼ることで、ガラッと雰囲気を変えることができます。

木の家の特長

【調湿効果】

木材には調湿効果があり、室内の温度を一定に保つために、水分を吸収したり放出したりする働きがあります。

そのため、湿気の多い夏場でも気持ちよく過ごすことができます。冬場には、乾燥した空気を和らげるために水分を放出してくれる作用があるため、湿度を一定に保つことができます。

また、木は年中湿度を一定に保ってくれるため、家の大敵となる結露やカビといった症状を抑えられる効果もあります。

【断熱性が高い】

木は鉄筋やコンクリートなどの素材と比べて、熱を伝えにくい性質があります。そのため、家全体の断熱性を高めることができます。

また、特に本物の木をそのまま使用する無垢材には、まわりの温かい空気が含まれているため、接着剤などで張りあわされたフローリングと比べて足下が冷えにくいといった特徴もあります。

そのため、冬場は足下が冷えがちですが、無垢材であれば冷たさを軽減してくれるので、裸足でも快適に過ごすことができます。

【癒し効果】

木の家は、森林浴と同じリラックス効果があると言われています。この効果は、木材に含まれる「フィトンチッド」という気分を落ち着かせてくれる成分が、人々に癒やしをもたらすとされるためです。

そのため、木を使った家であれば、個人差はあると思いますが、安心感と安らぎを得ることができるでしょう。

木材の主な種類と特徴 〈針葉樹〉と〈広葉樹〉

針葉樹の特長

針葉樹は成長が早いため、密度が低く軽量。比較的やわらかく加工もしやすいのが特徴です。持ち運びのできる折り畳み式のテーブルや、インテリア雑貨などにおすすめ。触り心地が良く、子ども向けの家具にも適しています。塗料の浸透性が高く、水性の塗料でも色がのるためDIYでも重宝されています。ただし、下穴を開けずにビス打ちも可能ですが、ビス打ちにより割れてしまう恐れもあるので注意が必要です。



広葉樹の特長

広葉樹は成長が遅いため、密度が高いです。硬くて重い材質のため、食器棚や本棚といった重いものを収納する家具などに使われています。高級家具にもよく使われているほど強度があり傷がつきにくいので、大切に使いたい家具にもおすすめ。ただし、DIYに使える種類も多数ありますが、加工が難しく塗料も浸透しにくいいためDIY初心者には扱いにくいかもしれません。

針葉樹の特徴

同じ針葉樹でも種類によって色合いや香り、用途が異なります。ここでは、それぞれの木材の特徴を紹介します。

ヒノキ(檜)

ヒノキは世界最古の木造建造物「法隆寺」にも使われています。

その強度は、切ってからも約200年間増し続けると言われるほどです。

香りや肌触りが良く、防虫や殺菌、耐久性に優れており、腐朽しにくいのも特徴です。フローリングやヒノキ風呂など、人の肌が触れやすいところにもよく使われています。



パイン(松)

パインはやわらかく加工しやすく、価格も比較的安価なのでDIYに

最適です。全体的に油分が多く、年数が経つうちに白っぽい黄色から

ツヤのある色合いへと変わっていきます。見た目は、木目に節が多く

て自然な風合いが魅力です。



スギ(杉)

スギはとても軽量です。流通量が多く比較的安価。他にも、スギで

作られた家具は楽に持ち運べるというメリットがあります。気密性

が低くて湿気を逃しやすいため、変形も生じにくく、床材として用いられることも多いです。



広葉樹の特徴

ナラ(オーク材)

ナラは、重厚で硬いため耐久性に優れており、反りにくい木材です。また、耐水性もあります。見た目は、木目に入った虎斑（とらふ）と呼ばれる虎の毛並みに似た模様が特徴的。大型家具や床材に人気です。



ブナ(ビーチ)

硬いのにしなやかなブナは曲げに強いので、イスの背やフレーム、ベビー用のおもちゃにも使われています。また、白っぽい色をしているため、明るい印象の北欧風家具にも用いられています。



ケヤキ

ケヤキは、くっきりとした美しい木目が特徴的な木材。耐久性があり、大黒柱に使われることも多いです。他にも、お椀やお盆などにも使用されます。



ウォールナット

和名でクルミと呼ばれるウォールナットは、世界三大銘木の1つです。チョコレートのような色と縦じまの木目が特色。



加工性や接着性、耐衝撃性に優れており、テーブルといった大きめの家具や高級な家具にふさわしい木材です。

チーク

チークも世界三大銘木の1つです。耐久性が高く害虫や湿気にも強いいため、昔から家具によく使われてきました。チークに含まれる天然の油分が月日によって黄褐色に変化し、味わい深くなるのもこの木材の利点です。



マホガニー

世界三大銘木、残る1つはマホガニー。ワシントン条約によって天然木の伐採や取引が制限されたため、現在では特に希少価値のある木材です。



リボン杻（りぼんもく）と呼ばれる一定周期でできたしま模様の木目が特徴的。上品でかつ高級感があるため、宮殿の装飾にも使われてきました。頑丈な材質ですが、軽量で加工しやすいのも魅力。経年により赤みかかった色に変わり、艶もでてきます。アンティーク調の家具に向いているでしょう。

木材の加工の種類と特徴

家具で使用している木材には、加工されていないものと加工が施されているものがあります。

無垢材

無垢材とは、原木から切り出されたままの木材のこと。湿度の変化や乾燥に影響されやすく、そのために反りが出ることもあります。



集成材

集成材は人工の木材です。小さな木材を接着剤などで貼り合わせて作られています。無垢材よりも強度が安定しているため、扱いやすいでしょう。パインやアカシア、ヒノキの他、草に近い材質のファルカタという木材の集成材などがあります。



合板

合板は、薄い板材（ベニヤ板）を奇数枚貼り合わせた強度が高い木材のこと。断面に見られる積層された模様が特徴です。また、こちらの加工板は比較的安価に入手できます。木材の大きさや厚さなど、種類が豊富です。カラマツを主とした針葉樹合板やチップを互い違いに積層したOSB合板、フタバガキ科の広葉樹の総称ラワンの合板などがあります。



その他の加工木材

主要なのは上記の木材ですが、以下のような加工木材もあります。

◆SPF材：スプルーフ（エゾ松）、パイン（松）、

ファー（もみ）が混在した木材です。それぞれの頭文字を取ってSPF材と呼ばれています。SPFを高熱乾燥処理したサーモウッドも人気。高熱乾燥処理により、防水や防虫、防腐効果が高まり耐久性が向上しました。

◆突板：無垢材を薄くスライスしてベニヤに貼り付けたもの。

◆化粧合板：印刷したプリント紙を貼り付けた加工木材です。プリント化粧合板とも表記されます。



DIYのおすすめの木材塗料

塗料によって浸透性や木材の見え方、重ね塗りの見え方が異なります。ここでは、DIYにおすすめの木材塗料やそれぞれの着色方法、色方法や着色後の木目、重ね塗りについて紹介します。

ニス

木材の表面に塗って仕上げる、半透明の塗膜。着色後の木目は無垢の状態よりも薄くなり、重ね塗りする度に色が濃くなるのが特徴です。

ワックス

少しだけ木材内部に浸透し、木材の表面に薄い膜を形成するのがワックス。これで着色すると、夏目（線と線の間の薄い色をした面）の部分を中心にかすれたような印象に仕上がります。ニスとの大きな違いは、重ね塗りをして色濃度の変化が小さい点です。

ステイン

木材の内部にしみ込み、木材自体に着色するのがこのステイン。木目を活かした着色をしたいときにおすすめの塗料です。着色した後は夏目に良く浸透し、木目の濃淡がはっきりと際立つでしょう。また、重ね塗りするごとに色濃度の変化は小さくなります。

しかしステインには保護機能がないため、他の塗料と併用するのが一般的です。木の肌触りを残したい人は蜜蝋ワックス、塗膜も着色もきちんとおこないたい人は油性ウレタンニスとの併用が良いでしょう。

木材は、針葉樹と広葉樹それぞれの特性に合わせて選びましょう。

木と共に・・・

戸育てを愉しみましょう！

